

令和5（2023）年度版
小・中学校、高等学校ほか学校向け

子供のための伝統文化・芸能体験事業

～見て、聞いて、身体を通じて知る伝統文化・芸能の世界～

応募の手引き

○主催：公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京
公益社団法人日本芸能実演家団体協議会

○助成・協力：東京都



伝統文化・芸能の「本物」の技に触れる体験・鑑賞プログラム 令和5年度実施校を募集します

公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京及び公益社団法人日本芸能実演家団体協議会（芸団協）は、東京都と共に、次代を担う子供たちが日本の伝統文化・芸能に触れ、体験することで、日本の文化の価値に対する理解を深め、多様な文化に対する幅広い理解を育んでもらうことを目的として、学校教育と連携した体験・鑑賞プログラムを実施します。

○募集対象校

東京都内の小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校、高等学校、特別支援学校（小学部、中学部、高等部）及び各種学校として認可された外国人学校

○実施内容

プロの若手実演家等を中心とした指導者を学校へ派遣します。子供のための伝統文化・芸能体験事業 事務局（芸団協）が学校と指導者との調整を行い、学校の教育方針や実施場所等の条件、新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた体験・鑑賞プログラムを作成します。

下記の内、各学校につき1ジャンルを実施します。

（各ジャンルの詳細はパンフレットまたは事業公式ウェブサイトをご参照ください。）

- ①謡・仕舞（能楽） ②狂言（能楽） ③日本舞踊 ④歌舞伎音楽 ⑤雅楽
- ⑥箏（こと） ⑦三味線 ⑧和楽器いろいろ（琵琶、津軽三味線、尺八、小鼓など）
- ⑨落語（演芸） ⑩紙切り（演芸） ⑪和妻（演芸）
- ⑫地域の芸能（東京都の芸能・工芸） ⑬伝統工芸（東京都の芸能・工芸）

○実施時期

令和5年5月から令和6年2月末までの中の原則1日（日曜・祝日を除く）。

※大規模校で1学年のクラス数が多い等の事情により、2日間の実施の調整をすることがあります。

※日程は、採択後に実施校と事務局とで調整し、決定します。

○実施場所

主に校内の体育館など広い場所を使用します。実施ジャンルによっては音楽室、多目的室など適した場所を使用します。紙切りと伝統工芸は、各教室、図工室などにて実施します。

○費用負担

費用負担は原則としてありませんが、施設設備及び学校にある備品を使用させていただく等、ご協力をお願いする場合がございます。

（例）—マイク・スピーカーやプロジェクターなどの学校備品の使用

—実施場所付近に、講師控え室となる鍵がかかる部屋の確保

—着替え用の姿見、敷物（ゴザなど）、ハンガー、ハンガーラック等のご用意

—楽器・備品等を車両で運搬する際の駐車場の確保

—楽器・テキスト・備品等を送付する際の宅配便の受取・発送手続き（送料は当方が負担します。）

—講師用の湯茶の準備

○実施までの流れ

1月6日（金）～2月13日（月）

お申込み

ジャンル紹介や実施条件をご確認いただき、希望ジャンルをご検討ください。

応募の手引きに基づき、

事業公式ウェブサイトの応募フォームからお申込みください。

各学校から事務局へ応募



子供のための伝統文化・芸能体験事業 事務局

公益社団法人日本芸能実演家団体協議会[芸団協]



3月下旬

事務局より内定通知をメール発信（採択校のみ）。



4月上旬

実施校の決定・確定通知（採択・不採択）

※採択校・不採択校ともメールにて通知します。



4～7月頃

実施日の決定

事務局が学校へご連絡し、ご相談の上、実施日を決定します。



実施1～2か月前

実施内容の調整

ご相談の上、詳細な実施内容を決定します。下見を行う場合もあります。



5月～翌年2月

実施

各学校へプロの若手実演家等を中心とした指導者が伺い、体験・鑑賞プログラムを実施します。

○お申込み

各学校より、直接ウェブサイトの応募フォームにてご応募をお願いします。

受付期間 令和5年1月6日(金)～2月13日(月)

お申込み先 子供のための伝統文化・芸能体験事業 公式ウェブサイト

<https://www.geidankyo.or.jp/outreach/>



子供のための伝統文化・芸能体験事業 事務局

公益社団法人日本芸能実演家団体協議会[芸団協]

(電話：03-5909-3060 平日 11:00-17:00)

詳しくは、パンフレットまたは公式ウェブサイト (<https://www.geidankyo.or.jp/outreach/>)
をご参照ください。「応募の手引き」(本状)・パンフレットは、公式ウェブサイトからダウンロード
いただけます。

○お申込みに当たっての注意事項

- ・お申込みは1校につき1回まで可能です。
- ・お申込みを受け付けましたら、受領確認メールをお送りします。1週間経ってもメールが届かない場合、何らかのトラブルが発生している可能性がありますので、大変お手数ですが、お電話にてお問合せください。

○実施校の決定及び通知

内定通知を3月下旬に事務局より発信します。令和5年4月上旬頃、お申込みをいただいたご担当者様へ、確定通知を発信します。

※応募多数の場合は、過去の実施実績等を考慮の上、実施校を選定します。

※最終的な実施内容・実施日については、実施校決定後、新型コロナウイルス感染症拡大防止等の条件を踏まえ、実施校の担当教員と事務局とで調整の上、決定します。学校環境やご希望に配慮するよう努めますが、ご希望に沿えない場合もありますので、予めご了承ください。

○実施形態

本事業は原則学年単位での実施を想定しています。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止等のため、基本的にクラスごとに実施します。

※最終的な授業数については、実施校の担当教員と事務局とで調整の上、決定します。

○実施場所

主に校内の体育館など空間の広い場所を使用します。実施ジャンルによっては、音楽室、多目的室など適した場所を使用します。紙切りと伝統工芸は、各教室、図工室などにて実施します。

○実施時間

1クラス1コマが基本です。但し、地域の芸能・伝統工芸（東京都の芸能・工芸）は2コマが基本です。

○会場使用時間

準備に60分～90分、クラス数に応じた授業時間の確保、片付けに30分～60分が必要となります。準備の都合上、なるべく2限目以降の実施をお願いします。

○定員

1クラス40名程度まで

○オンライン対応

- ・ 講師（プロの実演家）が学校に赴き対面で体験していただくことを基本としていますが、新型コロナウイルス感染症拡大等の影響によって学びの機会が失われないように、一部のジャンルではオンラインでの取り組みも実施します。配信の方式は、学校と相談の上決定し、リアルタイムでの質問などにも対応可能となるよう実施します。
- ・ オンライン実績のあるジャンル：雅楽、落語、紙切り、江戸表具（伝統工芸）
※その他のジャンルもご希望により調整いたしますが、実施実績がないジャンルは対応できない場合があります。

○ご注意

事業は日本語で実施します。外国人学校での実施に際しては、通訳等は実施校でご対応をお願いします。

○事業実施に伴うご協力をお願い

本事業は東京都の文化事業の一環として実施していますので、以下の①～③についてご理解・ご協力をお願いします。

- ① 実施後、担当教員によるアンケートのご提出（アンケート用紙は当日お渡しします。）
- ② 本事業が「子供のための伝統文化・芸能体験事業」として実施されていることについて、学校便りや行事報告等による保護者等への周知
- ③ 本事業及び主催者及び東京都の広報や報告書作成のために、当日の様子を撮影することや、撮影された映像・画像等をインターネット等に掲載すること（事前に確認していただき、許可の得られた映像・画像のみ掲載します。）

○実施の様子

今までの実施の様子を動画で公開しております。

実施年度	ジャンル	QRコード
平成 27 (2015)	能楽（謡・仕舞／狂言）、演芸（落語／紙切り）、日本舞踊、箏、三味線 https://www.youtube.com/watch?v=2oLadHofu1k	
平成 28 (2016)	茶道、地域の芸能、雅楽、伝統工芸 https://www.youtube.com/watch?v=zDvB_chcYhM	
平成 29 (2017)	演芸（落語）、伝統工芸、地域の芸能 https://www.youtube.com/watch?v=-KsAHUACr8s	
平成 30 (2018)	日本舞踊、三味線、能楽（謡・仕舞／狂言） https://www.youtube.com/watch?v=NKQQt028YGo	
平成 31 (2019)	雅楽、演芸（紙切り）、伝統工芸、箏 https://www.youtube.com/watch?v=iM0mftxVtJ4	
令和 2 (2020)	演芸（落語）、地域の芸能、伝統工芸 https://www.youtube.com/watch?v=mcs59CjHBcs&t=4s	
令和 3 (2021)	歌舞伎音楽、箏、演芸（和妻） https://www.youtube.com/watch?v=09tpSDDzfXo	

○お問合せ：

子供のための伝統文化・芸能体験事業 事務局

公益社団法人日本芸能実演家団体協議会[芸団協] 実演芸術振興部 担当：布目、青木

TEL：03-5909-3060（平日 11:00-17:00） E-mail：outreach@geidankyo.or.jp